帳票D

事業所名 ニチイケアセンターいわき小名浜

作成日: 令和 8年 3 月 28 日

作成者:

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		個別化に対する具体的な計画や支援が共有できてない。	個別支援への計画と共有化される事業所作り	・利用者一人ひとりの希望や状態に応じた外出・外食・買い物支援を実施する。 ・毎月の広報誌に活動内容やイベント等を記載し地域に発信をしていく。	6ヶ月
2		スタッフ間での利用者情報が共有されてない	統一性のある情報共有に努めチームワークの強化	・利用者様の情報にズレがないように、文書を作成して書面にて共有し、統一性を図る ・チームワークを意識した支援への取り組み	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

帳票C

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチイケアセンターいわき小名浜　　作成者：

作成日：2025 年 11月 17 日　　運営推進会議における評価実施日：2026 年 2 月 2日

（事業所としての自己評価目）

凡例　A. 充分にできている　B. ほぼできている　C. あまりできていない　D. ほとんどできていない　※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議における外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営						
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	B	毎日、朝礼でスタッフと管理者で、作った事業所理念「地域の皆様と共にお客様の自立に向け支援いたします。」を唱和し共有している。		
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	B	町内会に加入し地域清掃や地域自主防災訓練などに参加し認知症の人の理解を得ながら共に地域との繋がりを大切にしている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	B	運営推進会議を開催をし、よりサービスの向上に繋げるよう対面で意見を求めている、そして第三者評価（外部評価）を運営推進会議においてサービス評価を実施している。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	B	市町村から配信される情報メールを閲覧して最新の情報を得るとともに市が主催する研修に参加している。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	C	身体拘束の適正化を目的とした委員会を発足し、会議を実施してます。全職員が意見交換を行いながら、日々適切なケアに努めています。また、玄関の施錠については、会社の方針としてお客様の安全を最優先に考え、施錠を行っています。	B	法令に則り社内で共通理解として利用者様の安全対策に取り組まれている
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	B	身体拘束廃止と虐待防止に向けて、毎月社内アプリでの「虐待の芽チェック」と面談を実施している。また身体拘束適正会議や職員研修に虐待防止を取り上げ、スタッフ同士指摘し合える体制づくりをしています。	B	委員会や職員教育など防止に努めている
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	B	年間研修に権利擁護をテーマに加えて職員全体で成年後見制度に関する理解を深めて、制度が必要な場合に迅速に対応できる体制を整備している。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A	対面で重要説明書や契約書をお客様と対話しながら、不安あるときは十分な説明をして理解が得られるよう努めている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B	面会時に意見や要望を頂き運営に反映させている。	A	運営推進会議や広報、電話、来所など様々な面で家族などの意見に傾けている
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	B	各種会議や日常の業務内で職員一人ひとりの意見・考えを述べやすい環境づくりを行い運営に反映させているが必要に応じて面談も実施している。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	C	社内のスキルアップ制度があり、職員が向上心を持って働ける環境が整っています。また、生産性向上委員会を開催し職場環境の改善や人材定着に取り組んでいます。	B	職員に対し働きいやすい職場環境作りされている
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B	毎月1回他業種と専門医が参加する勉強会に参加しています。事例検討や認知症に関する学習を行い課題解決を専門性の向上に取り組んでいます。	B	研修は内部・外部共に意識的に取り組んでいる
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	B	グループホーム協議会へ加入しており、メディカルケアを共有し会議に参加することで情報交換を行い、サービスの質の向上に努めている。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	B	一緒に生活をする家族として、収穫した野菜を食べたときには感動をしたり、洗濯物をたたみ片づけたりと暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	B	面会などで馴染みの人に会う事や直筆で書いたはがきを送ったり電話での会話をしたりと関係継続の支援を行っている。		

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名：ニチイケアセンターいわき小名浜　　作成者：

作成日：2025 年 11月 17 日　　運営推進会議における評価実施日：2026 年 2 月 2日

（事業所としての自己評価日）

凡例　A. 充分にできている　B. ほぼできている　C. あまりできていない　D. ほとんどできていない　※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議における外部評価	記述
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	B	担当者会議や日常の会話を通じて表情や言動から本人の思いをくみ取り、気づきを重要視して把握できるよう努めている。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	B	介護計画書の更新時、心身の状態変化に合わせアセスメント・担当者会議を実施し、本人が抱えている問題・ご家族の要望・スタッフの提案を反映し、現状に即した介護計画書を作成している。	B	計画書作成・モニタリング・職員間を始め、本人、家族などと話し合い作成している
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	B	日々の個別記録・申し送りノートや朝礼で情報の共有を図り、実践・介護計画書に反映している。	B	記録の徹底はされていると思います
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	B	ご本人・ご家族の状況に応じて、通院等の必要な支援を実施している。また、介護保険以外のサービスの情報を提供をしている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	B	地域へのイベントへの参加や地域清掃など地域の繋がりを大切にした活動を行っている。また、お買い物支援やお友達との生け花活動、ボランティアによるレクリエーションなど本人の力が発揮できるよう支援している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	B	ご本人・ご家族の要望に応じ、月1～2回、提携医による往診や他医療機関への受診等、ご本人に適した診療が受けられるようご家族にも支援いただきながら健康の管理をしている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A	入院に至ってしまった場合でも定期的にご家族・医療機関と連携し状況確認を行い退院後の変化への対応も相談して回復へ繋げている。入退院時薬局との情報の共有を実施している。	A	医療機関や関係者とは密に連携している
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A	契約時に重度化した場合における指針を説明し、本事業所が出来ることへの理解していただけるよう努めている。その上で家族、本人の意向で看取りを希望される場合には家族、医療との連携を図り支援している。	A	高齢化、重度化にともない終末期に対する支援は充分に実施している
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	B	緊急時対応マニュアルや、定期的に消防署員指導の下、人工呼吸、心臓マッサージ、AEDの使用法を習得している。また、当施設には応急普及員資格取得者が2名いる為、身近に指導が受けられる環境にある。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	B	緊急避難時に対応できるよう、業務継続計画(BCP)の整備を進めている。また、消防署立会いの避難訓練は年2回行っているが、近隣との協力依頼が整うまでは至っていない。災害時に備え食料、備品を備蓄し、定期的に消費期限の確認や入れ替えを行っている。	B	BCPに限らず、日頃より緊急時体制づくりは力を入れている

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名：ニチイケアセンターいわき小名浜　　作成者：

作成日：2025 年 11月 17 日　　運営推進会議における評価実施日：2026 年 2 月 2日

（事業所としての自己評価日）

凡例　A. 充分にできている　B. ほぼできている　C. あまりできていない　D. ほとんどできていない　※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議における外部評価	記述
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B	各スタッフはコンプライアンスポリシーを理解し、コンプライアンスカードを所持している。一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーや個人情報保護等に配慮した声かけ対応を行い年間研修にも取り入れている、個人情報の保管は鍵付きロッカーで管理している。	B	プライバシーの尊重に対して職員一人一人が意識されている
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	B	ホームでの生活が、自宅家庭の延長と位置づけ生活リズムを崩さないよう配慮し支援している。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	B	食事摂取中の様子や会話から、嗜好の確認や摂取量の確認・把握を行い、委員会が中心となり献立を検討している。また、利用者ADLを考慮しテーブルの消毒や食器の下膳などできる支援を行っている。	B	食の楽しみ、環境の改善など、利用者様の状況に応じて支援している
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A	毎日食事・水分摂取チェック表を利用し、一人ひとりの摂取量の把握に努めている、また口腔、栄養スクリーニングを定期的に実施し栄養状況のリスク管理をしている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A	口腔ケアに関する技術的助言、指導を歯科医師・歯科衛生士から指導を受け口腔ケアを行っている。毎日1回は職員が仕上げをして、口腔内のチェックを行っている。	B	食事ごとの清潔保持が支援できる支援は改善できている
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B	排泄チェック表を活用し、個人の排泄パターンを把握することに努め、トイレで排泄が出来るよう表情確認や、声かけ等を行い、自立に向け支援している。	B	個々に応じた支援（計画）を意識されている
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	B	午前中に入浴の時間を設定しています。利用者一人ひとりの体調に合わせて無理のないペースでサポートを行い、入浴がリラックスのひと時になるよう配慮している。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A	体調・状況に応じて休息を促している。また、空調や光等にも配慮して安眠できるよう支援している。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A	内服薬の効能・効果について都度情報の共有を図っている。また、医療機関や薬剤師と連携し、症状に変化等ないか、充分に様子観察している。	A	充分に努めている
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	B	季節に応じた行事を開催している。また、日常生活の中で個人の能力に応じた生活リハビリを実施している。余暇活動での、塗り絵、パズル、雑誌読みなど個々の楽しみを持っている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	B	ご家族とともに散歩や外食を楽しむ外出支援を行っています。また、病院受診の際もご家族と同行できるよう支援し、安心して外出できる環境づくりに努めています。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	C	ご家族からおこずかいとして金庫で管理しており、希望に応じて支払いが出来るよう支援している。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	B	ご家族や知人から届いた、はがきや手紙については、希望に応じて読み上げることで、内容を一緒に共有をしています。本人が自身でお返事を書く機会を設け、大切な方々とのつながりを感じられるよう支援している。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B	空調・湿度の調整を行い、快適に生活できるよう支援している。また、壁の装飾など季節を感じられるよう共有空間の環境を整えることで、居心地良く生活できるよう支援している。	B	季節を感じられる工夫をされている

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名：ニチイケアセンターいわき小名浜　　作成者：

作成日：2025 年 11月 17 日　　運営推進会議における評価実施日：2026 年 2 月 2日

（事業所としての自己評価日）

凡例　A. 充分にできている　B. ほぼできている　C. あまりできていない　D. ほとんどできていない　※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議における外部評価	記述
Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	B	帰宅したいという強い希望がある際には、本人の話に耳を傾け、不安な気持ちに寄り添うことを心掛けています。そのうえで一緒に歩くなど気持ちが落ち着くような支援を行っている。		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	B	本人が大切にしている友人関係を継続できるよう、友人である美容師によるヘアカットの機会を設けたり、お友達と一緒に生け花活動を行うなど、これまでのつながりを尊重した支援に努めています。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A	毎日の体調確認やバイタルチェックを通じて本人の健康状態を把握し、異変が見られた際には速やかに医療機関や薬局と連携を図り対応している。	B	多機関と連携し安全な生活を提供している
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	B	自宅で受けていた週2回の訪問マッサージも継続しており、従来の生活スタイルを崩さずに過ごせる環境づくりを支援しています。		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	B	自室に家族との写真や手紙・お寺りなどを掲示して大切にしています。また、仏壇を置くことで心の安定を保ちながら、馴染みのある環境の中で生活を送っています。	B	最後まで、本人らしい生活を支援できる、する体制となっている
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	B	地域清掃や地域のイベントへ参加を通じて地域と関りながら過ごしています。また、家族と一緒に散歩や外出を楽しみ、外食や買い物にも出かけることで、これまでの生活スタイルを大切にした日常を送れています。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	B	意欲の低下が起こらないよう個々のアセスメントを行い趣味や余暇活動が継続できるよう支援しています。植木鉢への水やり、生花活動、食器拭きや掃き掃除など、本人が無理なくできる役割を活かした取り組みをしています。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	B	自己決定を大切に、自宅で過ごしている延長と捉えて活動・生活が送れるよう支援している。	B	支援している
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	B	近所の小・中・高校生によるフラダンスやヒップホップのボランティアを招いたり、またコロナが5類へ移行したことを受け、家族を招いた「ニチイ祭り」を開催をし、家族・地域との繋がりを大切にした活動をしています。		
49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	B	職員や地域の人々と親しく過ごし、安心して暮らせています。食事も「美味しい」と喜んで完食されており生活に満足しているとの声をいただいています。	B	コロナ禍も明け、外出や他者との交流など、安全を考慮し支援されている

総評

・認知症であっても"その人らしさ"を大事にされた支援を提供されています。
・施設内にて入退院時の対応にて窓局と情報共有が出来ており、服薬管理の状況の説明、日付印字による残薬管理も行き届いている、多職種連携会議においても身体的拘束の確認と施設スタッフの育成にも力をいれている
・状態変化あれば、その都度、相談してくれているため悪化防止に繋がっている。施設内とても明るい雰囲気で良い環境だと思います。
・コロナの時はできなかった外出や地域の方との交流ができているようになり、日々の楽しみが増えて本当に良かったと思います。良い刺激を受け楽しむことで脳内に良いホルモンが出ることで認知症の進行も遅らせることにと繋がると思います。色々と考えて下さるスタッフの方々には、感謝しかありません。

現状におけるご指摘事項・事業所の課題

・個別化に対する具体的な計画や支援が共有できれば、さらに開かれた事業所となっていくと思われます。
・時々スタッフ間での情報共有がされていないことがあるので、各自、意識的に情報収集していただけるとスムーズにやりとりができると思います。
・最近の物価高で今までと同じ様なサービスが提供できるのかなとふと思いました。（食費など）介護保険の割合が上がる可能性があり、入居者の負担が増えることもあるので色々と難しいのかなと思います。

参加者サイン欄

小名浜地域包括支援センター様、アイランド薬局岡小名店様、かしま訪問看護ステーション様
区長様、ご家族代表様、オーナー様